

小学校英語活動 15

7 いなくなった動物は？

7 トピック 生き物(3)

活動名	いなくなった動物は？
活動のねらい	・動物を表す単語を聞き取ろうとしたり、言おうとしたりする。
取りあげる英単語	<p><生き物></p> <p>elephant (象) monkey (猿) fox (キツネ) rabbit (ウサギ)</p> <p>cow (牛) lion (ライオン) dog (犬) tiger (トラ)</p> <p>※活動5、6で触れた動物を主に示した。</p>
取りあげる英語表現	<p>What animal is this? (これは何という動物ですか。)</p> <p>What animal is missing? (いなくなったのは何という動物ですか。)</p>
準備するもの 付	<p>・「取りあげる英単語」で示した動物のカード</p>  <p>※これまでの活動で使用したカードを利用するのもよいでしょう。 ※単語のつづりを文字で示すことについては、次ページの「ひとくちメモ」をご覧ください。</p>
活動内容/活動の流れ	
<p>黒板に何枚かはった動物のカードから、1枚、2枚と外し、どの動物がいなくなったのかを当てる活動（いわゆる、ミッシングゲーム）です。</p> <p>※児童の状況により、取りあげる動物を増やしたり、減らしたりしてください。</p> <p>児童に動物のカードを少しずつ見せて、それぞれの動物が何であるかを尋ねる。</p> <p>※最初からカードの全面を見せてしまうと、それが何の動物なのかすぐにわかってしまいますが、少しずつ見せていくことで、子どもたちの興味・関心や意欲をかき立てることができます。そして、“What (animal) is this?”という英語は、子どもたちが「考える」ことのきっかけになります。</p> <p>児童に目を閉じるように指示し、カードを1枚外す。</p> <p>※黒板に残したカードの場所を変えると、活動の難度が高くなります。</p> <p>児童に、いなくなった動物は何か尋ねる。</p> <p>※発展的な活動として、新たな動物を付け加え、“What animal is new?”（増えたのは何という動物ですか。）と尋ねることも考えられます。</p>	

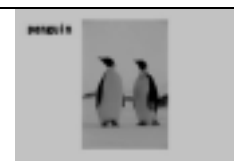
こんな英単語も取りあげることができます



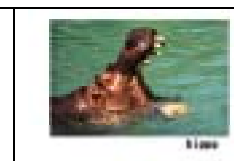
dolphin
(イルカ)



walrus
(セイウチ)



penguin
(ペンギン)



hippo
(カバ)



panda
(パンダ)



goat
(ヤギ)



horse
(馬)



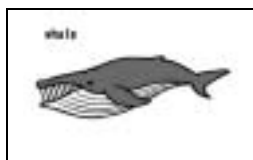
zebra
(シマウマ)



hen
(鶏)



pig
(豚)



whale
(クジラ)



Polar bear
(北極グマ)



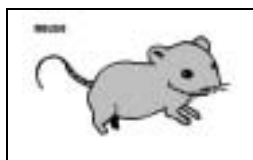
swan
(白鳥)



bear
(クマ)



ostrich
(ダチョウ)



mouse
(ネズミ)



koala
(コアラ)



cat
(猫)

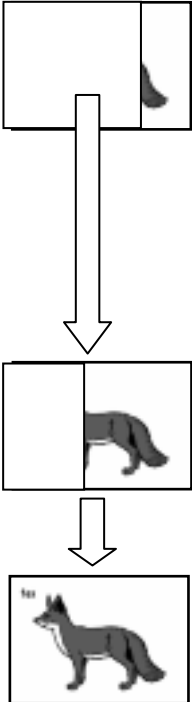
※すべて付録のCDに収録されています。

ひとくちメモ

小学校の英語活動では「聞くこと」「話すこと」に重点が置かれていますので、文字を見て英語を読むことは目標ではありません。

しかし、この活動で取り上げたカードには、単語のつづりをアルファベットで示してあります。これは、高学年の児童はローマ字の学習をすでに終えており、単語の発音を思い出す手がかりの一つと考えて絵に添えたものです。文字を読ませる活動をねらったものではありません。

7 トピック 生き物(3)

活動の流れ	担任 (ALT) の動き スクリプトとして活用してください。
<p>①児童に動物のカードを少しずつ見せて、それぞれの動物が何であるかを尋ねる。</p> <p><u>TTの場合</u> カードを操作する役割と英語を話す役割や、英語で質問する役割と答える役割などと、役割を分担するとよいでしょう。</p>	<p>【1】 Now, we'll play a game. (さあ、これからゲームをします。)</p> <p>What animal is this? An elephant? Yes? No?</p> <p>No. It is not an elephant. (これは何かな。象かな。違うね。象ではありません。)</p> <p>What animal is it? (何の動物かな。)</p> <p>◎児童が答えたら、まずそのまま繰り返す。日本語の場合は“犬——a dog?”などと英語表現を付け加えることも可能である。その後、答えに対し No.などと応じ、正解の場合はすぐにカードの全面を見せてもよい。</p> <p>【2】 カードをもう少し見せて</p> <p>What animal is this? Is this a monkey? No. (これは何の動物かな。猿かな。違います。)</p> <p>What animal is it? (何の動物かな。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。</p> <p>【3】 カードの全面を見せて</p> <p>What animal is this? (これは何の動物かな。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。正解が出たら、“Yes. This is a fox. Fox!”などと正解を示して、カードを黒板に掲示する。</p> <p>◎この活動で取り扱う他の動物 (elephant (象) monkey (猿) rabbit (ウサギ) cow (牛) lion (ライオン) dog (犬) tiger (トラ)) についても を行う。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>②児童に目を閉じるように指示し、カードを1枚外す。</p>	<p>【4】 Close your eyes. (目を閉じてください。)</p> <p>◎カードを1枚外す (トラのカードとする)。カードは教卓等に隠す。 ※黒板に残したカードの場所を変えると、活動の難度が高くなります。</p> <p>【5】 Open your eyes. Wow, one animal is missing! (目を開けてください。おや、動物が一匹、なくなっています。)</p>
<p>③児童に、いなくなった動物は何か尋ねる。</p>	<p>【6】 What animal is missing? (いなくなったのは何という動物ですか。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。隠したカードを取り出し、裏向きに児童に示す。</p> <p>【7】 What animal is this? (これは何の動物かな。)</p> <p>◎児童の答えに対応する。正解が出たらカードの表を見せ、“Yes. This is a tiger. Tiger!”などと正解を示す。</p> <p>※別な動物について、②③を繰り返してもよいでしょう。</p>

児童の活動	CD を使用した場合の授業の進め方
<p>一部が隠されたカードを見ながら、担任（ALT）の話聞く。 例 “Yes!” “No!”</p> <p>答えを考え、英語（または日本語）で言う。 例 「犬?」「パンダ!」「Tiger?”</p> <p>一部が隠されたカードを見ながら、担任（ALT）の話聞く。</p> <p>答えを考え、英語（または日本語）で言う。 例 「キツネ!」「Fox!”</p> <p>例 “Fox!”</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>🔔の箇所では CD をとめて、英語（または日本語）で進めてください。</p> </div> <p>🔔 児童の反応を見ながら、 What animal is this?（これは何の動物かな。） (Is this) ～?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p> <p>🔔 児童の反応を見ながら、 What animal is this?（これは何の動物かな。） (Is this) ～?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p> <p>🔔 絵を確認し、クラス全体で担任（ALT）と一緒に“Fox!”と言いましょ。</p>
<p>目を閉じる。</p> <p>目を開け、黒板のカードを見る。</p>	<p>🔔 児童が目を閉じたことを確認します。</p> <p>🔔 動物が一匹いなくなっていることを伝えま</p>
<p>なくなったカードについて考え、英語（または日本語）で言う。 例 「トラかな。」 “Panda!”</p> <p>例 “Tiger!”</p>	<p>🔔 児童の反応を見ながら、 What animal is this?（これは何の動物かな。） (Is this) ～?（～ですか。） Yes? No? を数回繰り返します。</p> <p>🔔 絵を確認し、クラス全体で担任（ALT）と一緒に“Tiger!”と言いましょ。</p>